

地材地消
chi zai chi sho



みんなでDo!!
地材地消
アクション

使う・建てる・活かす・親しむ・学ぶ…、あなたの出番です。

森林バイオマス

企業の取組事例
苫小牧市

「地材地消」の今後を占う 木質繊維断熱材工場。

次世代の地場産業育成を目指して複数の道内企業の出資により設立された榎木の繊維苫小牧工場が生産しているのは、カラマツ・トドマなどの道産針葉樹を原料にした木質繊維断熱材「ウッドファイバー」。ドイツの企業と製造・販売のライセンス契約を結び、2009年春から稼働しています。熱容量はグラスウール(16K)の5倍以上。防音・遮音性能が高く、木質ならではの調湿機能にも優れています。また、製造過程での廃棄物はゼロといった環境性能の高さにも注目が集まっています。



▲スタッフが持っているのが「ウッドファイバー」



◀2009年春から稼働している苫小牧工場

道産木材の活用

企業の取組事例
札幌市

飼い主もペットも安心 間伐材活用のリードキーパー。

その堅牢な特性を生かして建設現場の杭などに利用されている道産カラマツの間伐材。木目がとてもきれいな道産間伐材の製品化を検討していた大欧岩本ビルテック(株)で、愛犬家の社長のアイデアをきっかけに生まれたのが、ワンちゃんを模したリードキーパー(ペットをつないでおく台)。公共施設やスーパーなど、愛犬の同伴が難しい場所で安心してペットを待たせておくことができます。背中部分にプランターを置くことができ、インテリアとしても人気。ショールームなどにも利用が広がっています。



▲ペットとともに店頭を飾るリードキーパー



店内やショールームの装飾・サインに▶

地場産木材の活用

自治体の取組事例
芦別市

地元育ちの木材で建てる 市民のための快適住宅。

総面積の88%が山林で、カラマツ、トドマツ、エゾマツを豊富に産出する芦別市。地場産木材の利用促進を図ろうと、老朽化した公営住宅の建て替えに伴い、地場産カラマツ材を使った木造集合住宅の建設に取り組みました。もともと高度な乾燥技術がありますが、住宅用建材として扱うのは初めての経験。視察や情報収集を重ね、土台から柱、下地材まで全てにカラマツを活用した初の木造公営住宅が誕生しました。2008年から1棟7戸の住宅を建て始め、2014年までに10棟70戸を建設する予定です。



▲木を見せるデザインでコストダウンも実現した簾木部分



◀部屋の広さは、2DK、2LDK、3LDKの3種類

道産木材の活用

企業のコラボレーション
札幌市・旭川市

デザートにぴったりの、 木の器セット。

「飲食店で使える道産木材の器の普及を図りたい」という木材関係者の願いを受けて、(株)ササキ工芸(旭川市)が、(株)雪印パーラー本店(札幌市)で使用するデザートセットの試作に入ったのは2010年の2月頃。トレイとガラスの器の受台、湯飲みには、丈夫で狂いが少なく加工しやすいウミ材を、スプーンには堅い材質のイタヤ材を使用。札幌出身のプロダクトデザイナー伊藤千織さんの協力を得て、雪の結晶をモチーフにした素敵なデザインが出来上がりました。使用頻度の高い業務用ということで、ササキ工芸では木の形状を保つことや、塗装に工夫を重ね、耐久性については雪印パーラーが実際に食洗機にかけて試験に協力しました。関係者の尽力と連携により一つ一つの課題をクリアし、温もりあふれる木の器が訪れるお客様を喜ばせています。



▲▶ガラスの器は、白色と藍色の2種類。クリームあんみつ用の器として活躍中(表紙写真)



みんなのでDO! 地材地消 アクション。

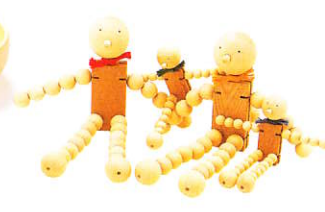
地域の木で作られた木製品たち



帯広市●コーヒーミル
十勝産カラマツを使用したハンドメイドのコーヒーミル。強い木目と赤みを生かした、使い込むほど味の出る製品です。



置戸町●クラフト製品
置戸町では現在21名の作り手が、地域のエゾマツやカバなどを素材に製作。自然の樹木が創りだす木肌や木目を生かした器は、普段使いできるのが特徴。



津別町●おもちゃ
「愛林の町」津別町では地域の木を生かした木工品作りがさかんです。



札幌市●おもちゃ
障がい者の支援施設から生まれた「木のZOO」。質の高いデザイン性で「札幌スタイル」にも認定。

地場産木材の活用

楽器に最適、道産木材。

●ピアノ響板

北見木材(株)(遠軽町)
ピアノは響板と呼ばれる板に弦の振動を伝えて音を響かせます。ピアノの心臓部と呼ばれるこの響板材として、北海道のアカエゾマツが使われています。



●アーチトップギター
ODASHIMA GUITARS (和寒町)

ボディが美しいアーチを描く手づくりのアーチトップギター。堅さがありつつ、適度にしなりもあるという楽器材の特性を備えた道産エゾマツやイタヤカエデが使われています。



●ウクレレ

WALNUT GROVE (帯広市)

空の美しいエゾヤマザクラやイタヤカエデを使ったウクレレ。マホガニーやハワイアンコアなどが主流を占める中、音質にも高い評価を得ています。写真はエゾヤマザクラ製。



●ライア

英円楽器(美幌市)

ライアはスチール弦を張った弦楽器で優しい響きが特徴。ボディは道産のイタヤカエデ、アカエゾマツ、カツラなど。家具には使われない木の根に近い部位も多く活用しています。



三笠市●北海道民芸家具
肌目が細細緻密で堅牢な道産カバ材をていねいに乾燥させ、職人技を生かして、親子代々受け継がれる家具を生産。



知内町●道南杉の内装材
床・腰板・障子窓など見た目に温かみがあり、意匠性も高い内装材です。



帯広市●カーポート
十勝産カラマツを強度のある集成材に加工して組み立てたカーポート。



旭川市●木製ガードレール
景観と調和する優れた意匠を持ち、耐雪型でB種基準に合格した唯一の木製ガードレールです。

環境に優しい森林バイオマス製品

バイオマスとは生物由来の再生可能な資源。今まで利用されていたなつた細い間伐材や、捨てられていた製材行程で発生する端材などを無駄なく利用する取組が、道内各地で進んでいます。

■マテリアル利用



紙製品
コピー用紙や名刺台紙、印刷用紙や封筒などの紙製品。これらのなかにも道産間伐材を使用している各種製品があります。



家畜敷料
家畜の排泄物の適切な管理のために、豊富な敷料が不可欠。北海道では稲ワラ、モミガラなどに加え、おが粉が使われてきました。



木質断熱材
森林バイオマスの新たな利用方法として注目されています。2009年、苫小牧市に製造工場が完成しました。

■エネルギー利用



木質ペレット
灰がほとんど出ないのもペレットの大きな特徴。現在道内では滝上町、足寄町、厚沢部町、むかわ町など14箇所で生産しています。



ペレットストーブ
FF式のものも多く、今までの灯油ストーブをペレットストーブに替えることができます。



ペレットボイラー
農業用ビニールハウスの加温用。地域の木材から作った木質ペレットを使い、地域の農作物を作る。これも地材地消の取組といえます。

地場産木材の普及

建築関連団体の取組事例

美幌町



▲2009年10月にオープンしたBIHOR.COM ECOLAND

▲モデルハウスの内部

地場のカラマツ材住宅の展示場をオープン!

FSC森林認証を取得するなど、安心で品質の高い森林づくりに力を入れている美幌町。地元工務店や木工品店が連携して町内産カラマツ住宅を研究・開発する「美幌・木夢クラブ(ビホロッドコムクラブ)」の設立は2007年。加盟企業は全社FSC認証材を加工・流通するためのCoC認証を取得しています。地場産カラマツ住宅をピーアールする場として、2009年10月には、町内に住宅展示場『BIHOR.COM ECO LAND(ビホロッドコムエコランド)』をオープン。地域の森づくりを家づくりに結びつける取組に熱い注目が集まっています。

「北の木の家」に認定された住宅に対して住宅ローンの金利優遇が受けられます。
(北海道木材産業協同組合連合会)

「北の木の家」認定のための3つのポイント

- 1 産地証明された「道産木材」を使用すること
- 2 合法的に伐採された木材であること
- 3 構造材にあってはJAS(日本農林規格)認定の木材であること

住宅使用木材の半分以上がこの条件にかなう場合に認定され、住宅ローン金利が優遇される金融機関もあります。



A B 札幌市厚別区のY邸。道産のカラマツやエゾマツ、古民家のヤチダモ材などを使用。リビングにはベレットと薪兼用のストーブを設置。

C D 札幌市豊平区のO邸。愛犬の健康も考えて「できるだけ自然なもの・近くのもので」という視点で、自然素材・低予算の家を実現。

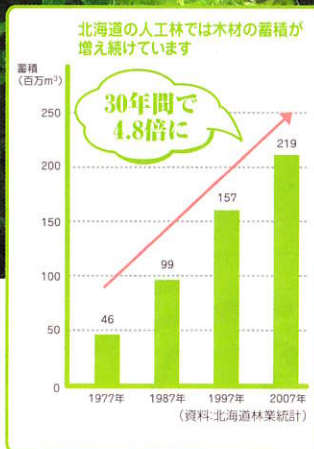
「北の木の家」認定制度で家を建てませんか？

詳しくは北の木の家ホームページ
<http://www.wood-plaza.or.jp/kinoie/>



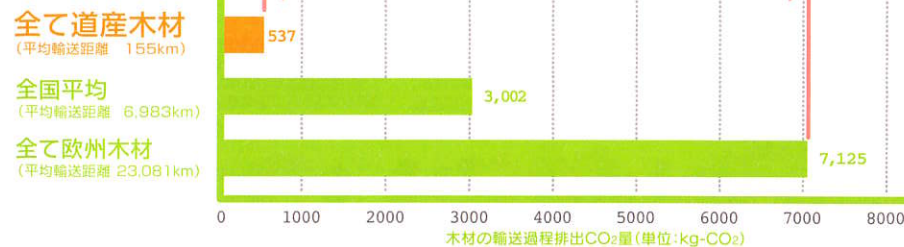
地材地消から生まれるいい循環

北海道の人工林の蓄積



道産木材を選ぶと、発生するCO₂がこんなに少ない

木造住宅1棟(40坪)の木材産地別輸送エネルギーの比較 [ウッドマイルージCO₂]



・ウッドマイルージCO₂とは、木材の輸送過程排出CO₂の量を示す新しい環境指標です。
・詳しくは、ウッドマイルズ研究会ホームページをご欄下さい。URL <http://www.woodmiles.net> (資料提供:ウッドマイルズ研究会)

「地材地消」とは「地産地消」の木材版。
北海道の木を使う暮らしが、ふるさとを元気にし、環境を守ります。

北海道の森林面積は総面積の約7割。身近に木があるお陰できれいな空気、清浄な水、豊かな土、季節ごとの風景の美しさといった恩恵が日々の生活の中に息づいています。

森林には二通り。一つは主に天然の力により生育成立した天然林、もう一つは人手による植栽などを行い成立した人工林です。人工林は主に木材生産を目的として植栽され、植えた後も下草刈りや間伐作業など、手入れすることで健全な森林が育成されます。北海道の森林の約3割が人工林で、その内訳はトドマツ53%、カラマツ31%と二つの樹種で8割以上を占めています。

これまでは輸入材が多く使用されてきましたが、地球温暖化の問題などがクローズアップされる中、道産木材のよさが見直されています。住宅をはじめ、家具、食器、燃料など、「道産」を選ぶことで山へ元気を恩返しする「地材地消」、一緒に始めませんか？

〔地材地消でこんなイコト〕

- 木材は天然の素材で温もり、香り、感触など生活を豊かにします。
- 「木を伐る、使う、植える、育てる」という林業本来の資源の循環に繋がります。
- まさに新たに雇用が生まれるなど地域経済が活性化します。
- 森林の手入れが促進されて森林が元気にになります。
- 輸送に伴う大量が発生していたCO₂が減少し、地球温暖化防止に役立ちます。

北海道は、木とふれあい木に学び・木と生きる「木育」を道民運動としてすすめています。

あなたもふるさとの木を使ってみませんか？

適材適所 北国の木々

北海道の森林で育った木々は、個々の特徴を生かし、暮らしの中で利用されています。



①【トドマツ】

●マツ科●常緑針葉樹
エゾマツと並び北海道の代表的樹種。人工林では最も多い。木肌は白く、加工しやすいのが特徴。建築用材や工芸品などに使われる。



②【カラマツ】

●マツ科●落葉針葉樹
道内で広く人工造林されている針葉樹。湿気に強いので土木用に使われるほか、強度があり、無垢材や集成材は柱や梁、合板など建築用材にも使われる。



③【スギ】

●スギ科●常緑針葉樹
日本の代表的造林木で、建築用材など様々な用途に使われる。花粉症の原因としても有名。北海道では道南(渡島・檜山)を中心に植栽され、「道南スギ」と呼ばれる重要な人工林木のひとつとなっている。



④【シナノキ】

●シナノキ科●落葉広葉樹
均質な材質で加工しやすく、床芸品や割割、合板などに広く用いられる木。年輪がはっきりせず、緻密な木目が特徴。



⑤【ハリギリ】

(センノキ)
●ウコギ科●落葉広葉樹
木目は粗いが、ケヤキに似た美しい光沢と年輪を持つ。やわらかい材質で加工しやすく、家具や下駄などに用いられる。



⑥【マカバ】

(ウダイカンバ)
●カバノキ科●落葉広葉樹
年輪は不明瞭で、重硬で均質な材質を持つ。淡紅褐色の心材と白色の辺材が特徴的。耐磨耗性が高いので、体育館の床や内装用材として使われる。



⑦【ミズナラ】

●ブナ科●落葉広葉樹
代表的な広葉樹で、どんぐりのなる木。材質は固く、独特の木目(虎斑)が美しいので、家具やフローリング材などに利用されている。



間伐で未来につなぐ北の森

(道産間伐材マーク)

地域の森林の間伐や、道産間伐材を使うことの大切さをより広く伝えることを目的としたマーク。一定の基準を満たし、「北海道木材利用推進協議会」が承認した道産間伐材製品に「道産間伐材マーク」が表示されています。

この紙は原料の一部に道産間伐材を使用しています

「地材地消」についてのお問い合わせなどは

●北海道水産林務部林務局林業木材課

所在地/札幌市中央区北3条西6丁目 電話/011-204-5492 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rmm/>
※または、最寄りの「総合振興局、振興局林務課」若しくは「森林室」へ

●地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部

・林業試験場

所在地/美瑛市光珠内東山 電話/0126-63-4164 <http://www.fri.hro.or.jp>

・林産試験場

所在地/旭川市西神楽1線10号 電話/0166-75-4223 <http://www.fpri.hro.or.jp>

木材についての相談窓口

●ウッドプラザ北海道

所在地/札幌市中央区北4条西5丁目林業会館3階 北海道木材産業協同組合連合会(道木連)内
電話/011-251-0683 <http://www.woodplaza.or.jp/>

●木と暮らしの情報館

所在地/旭川市西神楽1線10号 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場内
電話/0166-75-3553 <http://www.fpri.hro.or.jp/jouho.htm>

●オホーツク木のプラザ(社)オホーツク森林産業振興協会

所在地/北見市泉町1丁目3番18号 電話/0157-25-1331 <http://www.owp.or.jp>